

第5学年2組 家庭科 学習指導案

指導者 教諭 有働 加織

1 題材の構想 ミシンにトライ！手作りで楽しい生活（東京書籍）B（5）アイ

の 児 童 の 姿	ミシンぬいに関わる基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、製作を通して、効率的な手順や目的に合った製作の工夫を考えながら、生活に役立つものを作り生活を楽しく快適にしている。		
	〔知識及び技能〕	〔思考力、判断力、表現力等〕	「学びに向かう力、人間性等」
題材の 目標	<ul style="list-style-type: none"> 安全なミシンの使い方を理解し、適切に使うことができる。 丈夫に作るための製作計画を立て、製作することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活を見つめ、生活を豊かにするための課題を見だし、さまざまな解決方法を考え、工夫している。 実践を評価・改善したり、考えたことを表現したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の一員として、生活をよりよくするための課題を見つけ、改善しようと主体的に取り組もうとしている。 実践を振り返り改善するなど、生活を豊かにする工夫をし、実践しようとしている。
目標 に向 かう た め の 手 立 て	<p>○研究の視点</p> <p>【視点1 課題設定の工夫】 題材導入時に「使いやすく長く使うことができるエプロンを作ろう」という題材を通したためあてを設定することで、継続的に意欲を喚起させ、そのために必要な手順や製作計画、工夫を自ら考えることができるようにする。</p> <p>【視点2 指導の工夫】 実物や見本、写真を提示し、見比べる活動を行うことで、一つ一つの手順をイメージしやすくする。また、見本をもとにぬい順番や工夫について考え交流し、自分の考えを広げ深めながら製作手順を明確にしていく。</p> <p>【視点3 振り返りの工夫】 題材を通した振り返りシートを活用し、「今日の学び」「これから」の視点で振り返りを行うことで、自分の生活を振り返り、生活に学びを生かそうとしたり、自分の生活の変化や成長を実感できるようにしたりする。</p>		
児 童 の 実 態	<ul style="list-style-type: none"> ○児童はこれまでに、玉結び、玉どめ、ボタン付け、なみぬい等の学習している。 ○ミシンを使った経験がある児童は1人だった。ミシンに対して「手ぬいより速そう。」「便利。」「というイメージを持っている児童がいる一方で、「危険。」「こわい。」「というマイナスイメージをもっている児童も3割ほどいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○衣生活に関する前題材「ひと針に心をこめて」の学習では、玉結び、玉どめ、なみぬい、返しぬい、ボタン付け等を安全に正しくできるための工夫について学習している。 ○これまでの手ぬいの学習を振り返り、「うまくぬう方法を知った。」「だんだんぬい方が分かってできるようになった。」「と感じている児童がいた。しかし、「失敗ばかり。」「難しい。」「と苦手意識をもっている児童もいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休みには、学習したことを生かし手ぬいでぞうきんを製作した。 ○裁縫の授業に対して、「手ぬいは大変。」「針がこわい。」「と児童もいた。しかし、「家や学校で役立つものを作ってみたい。」「裁縫は大人になってからも役立つ。」「もっと違うぬい方を知りたい。」「と学習を楽しみにしている児童も多い。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ② ミシンなどに用具の安全な取り扱いやミシンぬいによる目的に応じたぬい方について理解しているとともに適切にできる。	① マイエプロンの製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見だし、課題を設定している。 ② 様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	① 家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ② 実践を振り返って改善したり、生活を工夫したりして、実践しようとしている。

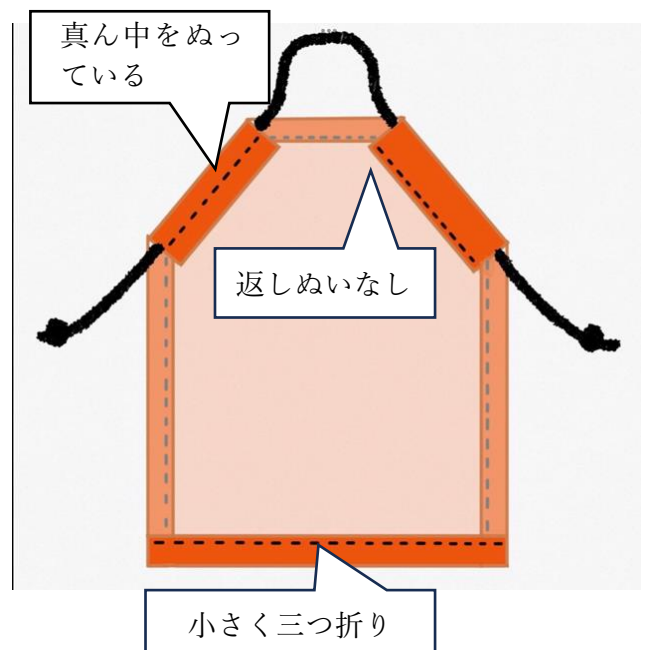
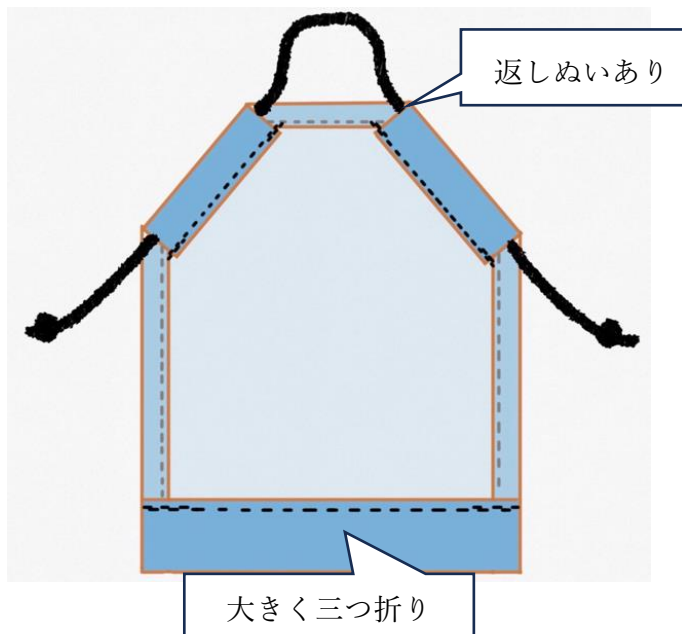
2 本時の授業計画

指導と評価の計画（11時間取り扱い ●本時 6/11）				
課題	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
使いやすく長く使うことができるエプロンを作ろう。	1	1	○ミシンぬいと手ぬいの違いを考えたり、身近なミシンぬいの布製品を観察したりして、ミシンぬいのよさに気付く。 ○自分の生活を豊かにするものを考え、その製作に必要な技能や準備物などを考え、製作計画を立てる。	【思】①シート
	2	2	○ミシンの各部の名前、使い方、安全に使うためのルールを知る。	【知】①シート
	3	3	○ミシンの準備の仕方を知り、下糸や上糸の準備を練習する。	【知】②観察・シート
	4	4	○ミシンを使って、直線ぬいを練習する。	【思】①シート
	5	5	○いろいろな種類の布の素材に触れ、違いや活用方法を考える活動を通して、エプロンにふさわしい布を選び、エプロンに必要な布の大きさを知る。	【思】①シート
	3	6	●エプロンの製作手順や工夫を考え、製作計画を立てる。	【思】①シート
		7	○製作計画に沿って、製作する。	【知】②観察・作品
		8	①布にしるしをつける。	【思】②シート
		9	しつけをする。	【主】①観察・シート
		10	②直線ぬいをする。 ③かざりやポケットをつける。 ④アイロンをかけ、ひもを通す。	
	4	11	○作品を友達と見せ合い、自分の製作を振り返る。	【主】②振り返りシート

【見本】

完成見本

比較見本



(1) 本時の目標

エプロンの製作手順や使いやすく長く使うことができるための工夫を考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ICT 機器等
導入	3	1 本時のめあてを確認する。	○どんな順番でエプロンを作るのだろう。 ・手順を知りたい。	○前時までの活動を電子黒板に掲示することにより振り返ることができるようにする。	電子黒板
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>【めあて】『使いやすく長く使うことができるエプロン』の製作手順を考えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習課題】どんな順番でぬったり、どんな工夫をしたりすれば、使いやすく長く使うことができるエプロンができるだろう。</p> </div>				
展開	7	2 ぬう順番を考える。 (1) 個人やペアで考える。 (2) 全体で確認する。	○エプロンを作るには、どこをどんな順番でぬうとよいか考えましょう。 ・布の上と下の部分をぬう。 ・ひもを通すところもぬう。でも、先にぬうとひもが通らないよ。 ・布の重なっているところを見るとぬう順番が分かるかもしれないな。	○紙のミニエプロンを、実際に折り曲げたり、ぬう場所を示したカードを操作したりしながら、順番を考えさせる。 ○見本のエプロンを見ながら、全体でぬう手順を確認していく。	学習シート ミニエプロン タブレット 見本 電子黒板
	25	3 ぬい方の工夫を考える。 (1) グループ考える。 (2) 全体で見つけた工夫を出し合い、確認する。	○使いやすく長く使うことができるための工夫を見つけましょう。 ・ぬい始めとぬい終わりは、返しぬいがしてある。 ・ひも通しの部分のぬい始めとぬい終わりは、はみ出してぬってある。 ・裾が大きく折り曲げていると大きくなって調整できるね。 ○どんな工夫が見つかりましたか？ ・返しぬいをしてひもを通す部分を丈夫にする。 ・裾の長さは調整できるように曲げておく。	○見本のエプロンを比較しながら、裾のぬいしろの違い、長く使うためのよさに気付くことができるようにする。 ○「長く使うことができる」という視点を明確にし、工夫を見つけさせるようにする。 ○工夫を見つけることができないグループには、エプロンのぬう順番を一緒に確認し、関連させて考えさせる。 ◎【思】① エプロンを製作する手順やエプロンを長持ちさせるための工夫について考えている。	見本 ミニエプロン ひも 学習シート 学習シート
終末	10	4 本時の学習について、まとめをする。			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>【まとめ】ひもが通るように胸の左右の部分を最後にぬったり、三つ折りにしたり返しぬいをしたりすると使いやすく長く使うことができるエプロンになる。</p> </div>				
		5 学びを振り返る。	○今日の学習のふり返りをしましょう。 ・ぬう順番が分かった。 ・長く使うことができるように必要なところは返しぬいをしよう。	○「使いやすさ」「長く使うことができる」の視点で振り返っている児童の振り返りを紹介する。 ○次時から製作に入ることを伝える。	ふり返しシート タブレット